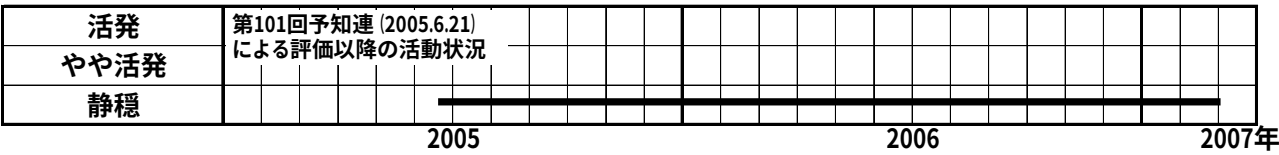


岩 手 山

- 火山活動評価：静穏な状況
地震活動、噴煙活動は低調な状態で火山活動は静穏に経過しました。



- 概況
・地震や微動の発生状況（図2～図3）

火山性地震は少ない状況が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

- ・噴煙など表面現象の状況（図4～図5）

遠望観測（監視カメラ：黒倉山山頂の北約8km）では、黒倉山山頂の噴気の高さは、概ね50m以下で低調な状況が続いています。

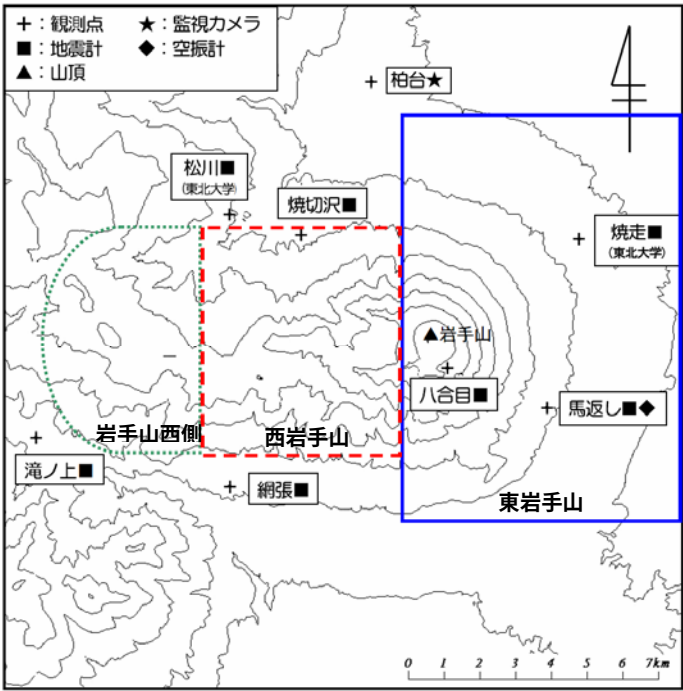


図1 岩手山 観測点配置図

※資料は気象庁のデータその他、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

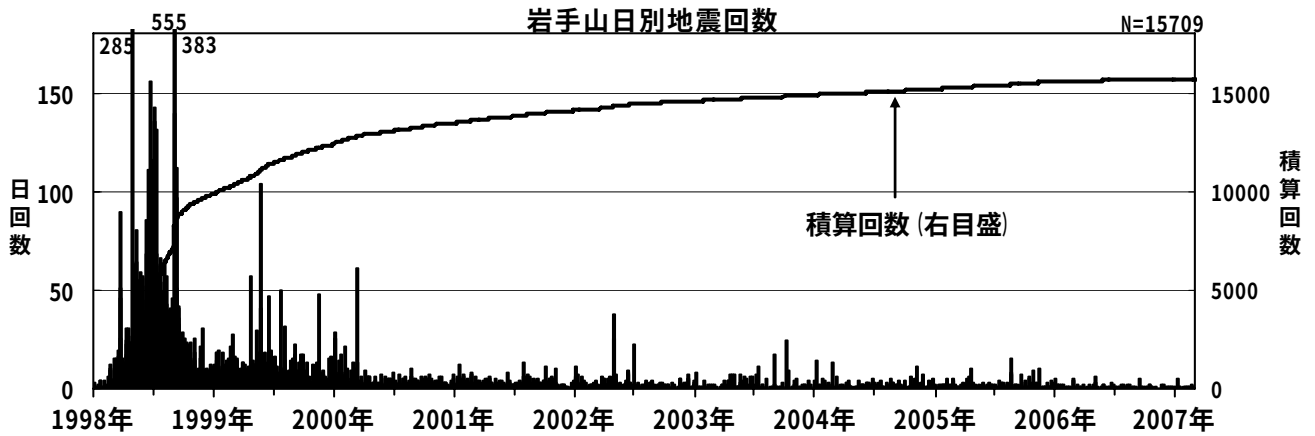


図2※ 岩手山 日別地震回数(1998年1月～2007年2月)

注) 2006年1月1日より地震回数の基準点を、東北大学松川観測点（計数基準：S-P時間2秒以内）から
気象台焼沢観測点（計数基準：振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上でS-P時間2秒以内）に変更しました。
2000年1月以降は、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。
(1998年から1999年までは、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含んでいます。)

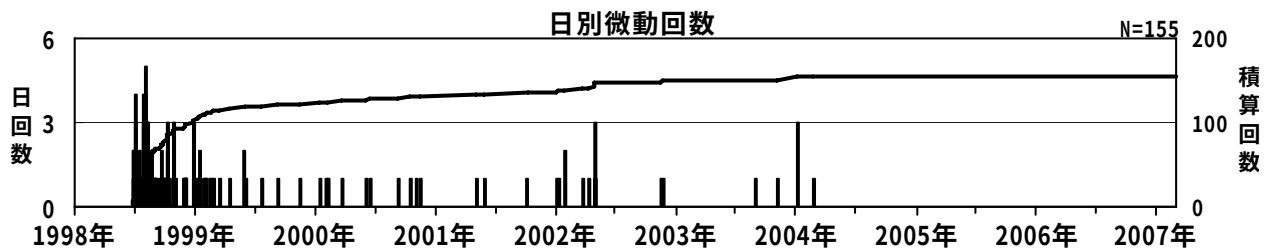


図3※ 岩手山 日別微動回数(1998年1月～2007年2月)

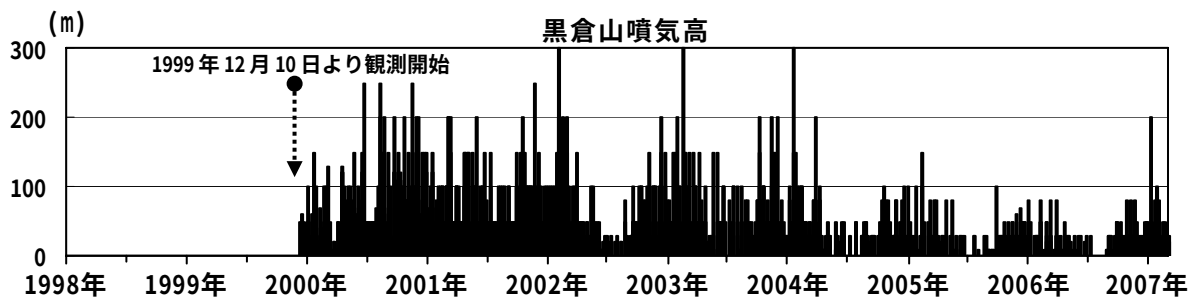


図4 岩手山 日最大噴気の高さ（黒倉山）(1999年12月10日～2007年2月)

気象台の柏台監視カメラは、1999年12月10日より観測を開始しました。